



## DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

### 予選レポート

2011/7/17 Rd-3 富士スピードウェイ

天候：晴れ 気温：28℃ 出走台数：16台

昨年より1週間早く梅雨明けした関東地方は真夏の青空に恵まれ、シリーズ唯一のワンデー開催（予選及び決勝レースを同日に行う）第3戦 富士スピードウェイは、予選から観戦する多くのファンで賑わっていた。

気温 28度/路面温度 33度と、昨日まで行われた公式テストに比較しやや気温は低めのノックアウト第1予選。

DOCOMO TEAM DANDELION RACINGの2台は1セット目の新品タイヤで車両と路面コンディションを確認、タイヤを交換し、予選残り6分でアタックを開始する。

両ドライバーともに、第2セクターでのアンダーステアを訴え、伊沢選手12位、塚越選手8位で揃って第2予選へ。

続く第2予選、それぞれアンダーステア解消のためのセットアップを施すが、伊沢選手は低ダウンフォース仕様を、塚越選手は高ダウンフォース仕様を選択、結果的には高ダウンフォース仕様の感触が良く、伊沢選手はトップからわずか0.7秒遅れながらも順位は10位に留まり、ここでノックアウト予選を終えることとなった。対策が功を奏した塚越選手は、0.15秒という僅差で3番手タイムを記録、第2予選を通過する。

トップ8の順位を決める第3予選、セットアップをさらに進めた塚越選手はラスト6分でアタックラップへ、渾身のラップながら5番手のタイム。上位4台をトヨタエンジン勢が占める中、ホンダ勢トップで予選を終えた。

#### 40：伊沢選手 予選10位（第1予選12位 第2予選10位）

スピードを追求して低ダウンフォース仕様で臨みましたが、結果的には塚越選手の選択した高ダウンフォース仕様がよかったようです。セットアップはわずかの差なのですが、結果には大きく出てしまいました。続く決勝は気温も高くなります。コンディションをよく読み、ピット戦略でチーム一丸となって表彰台を目指します。

#### 41：塚越選手 予選5位（第1予選8位 第2予選3位 第3予選5位）

第1予選では思うような車ではありませんでしたが、第2予選ではセット変更が的中し非常に良い感触になりました。第3予選ではさらにその方向性を攻めたのですが、首位は得られませんでした。トライは間違っていないでした。

決勝は2度のピットストップがあります。周囲の状況で戦略も刻々と変化するでしょうから、レース中もチームとのコミュニケーションを密にとりながら、トップを狙っていきます。